

東日本大震災

今から 11 年前の 3 月 11 日、大きな地震がありました。東北地方の太平洋海底を震源とし、日本周辺における観測史上最大の地震でありました。東日本大震災です。この地震で亡くなられた方は 18000 人を超えました。6 年生の人たちも 1 歳の時だから、記憶もないかと思います。

この地震の時、私は職員室で仕事をしていました。突然の大きな揺れで、何が何だかわからず、校内放送でサイレンを鳴らし、放送を入れたのを覚えています。でも、まっすぐに立っていられず、黒板のふちに必死につかまっていた。

わたしがいた学校では、まだ多くの子供たちが残っていました。避難訓練と同じように校庭に避難したのですが、時々余震と言って大きな揺れがやってきます。プールの水はその揺れで波が起きたようにあふれています。突然雨が降ってきて、みんなは体育館に移動しました。余震により、バスケットゴールが音を立てて揺れています。床がミシミシ動いているような感覚がありました。古い体育館だったので、倒れてしまうのではないかと心配でした。

学校では、保護者の方への引き渡しを決め、お迎えがあった子供から帰るようにしました。学校からお家の人に緊急連絡の電話をしたり、緊急メールを打ったりするのですが、これもなかなかつながりません。1 時間以上たってからやっとつながるようになり、保護者の方たちがお迎えに来てくれました。

多くの方は会社からお迎えに来ます。でも、電車も動かず、タクシーもつかまらず、何時間も歩いて学校にたどり着いた人もいました。最後にお迎えに来た人は真夜中の 3 時半でした。

大変な 1 日でしたが、夜になるにしたがって、学校に支援してくれる方が増えました。「おにぎり作ったよ、みんなで食べてね。」とあるお母さん、家に余っている布団をいくつか運んでくれたお父さん、ペットボトルを差し入れてくれた近くに住むおばあさんなどがいたのです。

大変な 1 日でしたが、保護者の方や地域の方の温かさを感じた 1 日でもありました。